分校だより
三学期の号

5人で歩んだ3年間
どのクラスよりも少なく
思うようにやれないことがたくさんあった
それでも笑顔と涙で描きあった日々は
昨日のように思い出す
君が今日一人で踏み出す一歩は
僕らの一歩だ

地域と共に歩む
大曲農業高等学校太田分校
〈TEL〉０１８７（８８）１３１１
〈FAX〉０１８７（８６）９０３５

第48期卒業生　新たな旅立ち

●三月一日(土)、午前に授賞式・同窓会入会式、午後から卒業証書授与式を執り行いました。今年の卒業生は5名でしたが、同窓会、PTA役員、更に旧職員の方々をお招きし、できるだけ今までどおりに近い式典で卒業生を送り出すことができました。長時間の式典となりましたが、卒業生が笑顔で校舎をあとにする姿を見て「今年も無事に卒業式を実施することができて良かった」という思いでした。　がんばれ！第48期卒業生たち。

たくさんの思い出を胸に、新たな世界へ！

授賞式

三年間の頑張りが報われた瞬間です

同窓会入会式

職員による黒板アート

卒業証書授与式

卒業生入場

校長が生徒に卒業証書が授与されました

来賓の方々

卒業生退場

【送辞】

まわりの雪が解け始め、桜の蕾が膨らみ春の兆しを感じる頃となりました。

本日、大曲農業高校太田分校を卒業する卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

今、皆様はこの太田分校での三年間を振り返っているかと存じます。

二年前私たちが入学して来たあの日、新しい環境になれていけるのか不安な気持ちがたくさんありました。しかし、先輩方が私たちを暖かく出迎えてくれたおかげで不安な気持ちも徐々に消えていったのを覚えています。

太田分校にはたくさんの行事があり、紙ふうせん作りやグラウンド・ゴルフ大会、運動会そして、球技大会など様々な場面で先輩方がお手本となり、私たちを引っ張ってくれました。特に運動会が一番心に残っています。運動会の準備をする中で私は、何をすればいいのか困っていました。しかしながら先輩方は、優しく丁寧に、教えてくださったことを今でも覚えています。人数が少ない中ではありますが、先輩方は声を掛け合いテキパキ準備していました。他にも委員会活動や部活動でも後輩たちに優しく丁寧に教える姿が見えました。

一、二年生の見本となり、仲間同士で励まし合い、後輩には優しくアドバイスし、どんなときでもくじけずに最後まで頑張ってきた先輩方にいつしか憧れを抱くようになっていました。私たちもいつかこのような先輩になりたいと思っています。

皆様が、この太田分校を巣立っていくと思うと寂しさとともに不安な気持ちが込み上げてきます。しかし、先輩方に教えていただいた知識や積み重ねてきた経験が、進むべき道を照らし出してくれるに違いありません。

皆様はこれから夢に向かって社会に旅立っていきますが、先生方が教えてくださったこと、これまで太田分校で身につけた知識や技術は、社会に出てもきっと先輩方の背中を押してくれるはずです。

どんなに大変なことがあっても諦めずにがんばってください。太田分校生一同応援しております。

最後になりますが、皆様のご健康と新たな生活でのご活躍をお祈りし送辞とさせていただきます。

令和七年三月一日

在校生代表　深谷　良映

【答辞】

雪が日に日に溶け始め、植物の芽が見え始め、春の訪れを感じる季節となりました。

本日は、私たちのためにこのような素晴らしい式を挙行して頂き、卒業生を代表してお礼を申し上げます。今日こうして三年生五名が無事に卒業の日を迎えられたことをとても嬉しく思います。

太田分校で過ごしてきた三年間は長かったようで短く感じ、時間はあっという間に過ぎ去ってしまいました。

三年前の四月、桜が満開で新しい制服に身を包んで迎えた入学式。初めて出会う新しい友達や先生方、先輩方との出会いに不安な気持ちが沢山あったあの日を覚えています。

高校生活が始まり、緊張感が高まった一年生。まだ慣れていない環境や初めての行事にも戸惑うことがあり、わからないことだらけでしたが、クラスの友達と協力していく上で徐々に打ち解けていき、毎日が楽しくなっていきました。学校行事の中では、特に運動会で行われたクラスパフォーマンスで関係が深まりよい思い出になりました。

時は経ち、二年生になり様々な場面で責任感が出始める頃、私たちが一番楽しみに待っていた修学旅行という学校生活で大きなイベントがやってきました。初めて乗る飛行機に感動し、私たちは京都へ向かいました。京都では清水寺や三十三間堂といった歴史的建造物を見学し、奈良では東大寺にある奈良の大仏や鹿とのふれあい、特に大阪でのユニバーサルスタジオジャパンはとても楽しい時間を過ごすことができました。各場所を歩き、昔さながらの町の風景を見ながら修学旅行の思い出話をし、帰りのバスの中でも話を絶やしませんでした。

そして、太田分校での最後の一年である三年生。三年間楽しかった学校生活もラストスパートを迎えました。就職、進学とクラス全員がそれぞれの未来に向けて動き始め、書類を書き直したり企業へのインターンシップなどを行っていき、先生方との面接練習をしたりいつもの日常より慌ただしい日が続いていきました。全力で取り組んだ結果として、無事に全員が内定、進学が決まり自分たちの目標を達成することができました。

改めて、この三年間を過ごしてきた中でお世話になった方が周りに沢山いました。まず、私たちを三年間支えてきてくださった先生方。日々の授業で優しく教えてくださったり、時には叱ってくださったりしました。先生方の心優しいサポートのおかげで楽しい高校生活を充実に過ごし、忙しい中でも落ち着いて行動してくることができたと思います。

何より、普段から私たちを見守ってくださった家族。失敗して落ち込んでしまったときには寄り添って励ましてくださいました。忙しい中でも送り迎えや朝早くからの準備、三年間ずっと支えてきてくださり、今、私たちは卒業を迎えることができました。

長かったようで短く感じた三年間。クラスの仲間とともに旅立つことを大変嬉しく思いますが、思い出が多く楽しい時間がもう少しで終わろうとしており、寂しく感じるところもあります。ですが、太田分校で学んできた知識、行動力を活かしてこれから始まる新たな生活を十分満足できるように笑顔を絶やさず頑張っていきたいと思います。

在校生の皆さん、私たちは今日をもちまして太田分校から旅立とうとしておりますが、これからは在校生の皆さんが太田分校を支えていく番になります。どうか太田分校で過ごす時間を大切にしてください。新三年生になる生徒の皆さん、三年生になってからの一年はあっという間に過ぎ去ってしまいます。就職、進学活動に励むことも大切ですが、周りにいるクラスメイトとの時間も充実させてください。そして、今できることに一歩足を踏み出して挑戦してみてください。新二年生になる生徒の皆さんも同様で時間はまだあると言って油断してはいけません。残っている時間を有効に活用して日々を充実させ、太田分校で地域と寄り添う学校作りを目指し、沢山の知識や行動力を磨き上げてください。これからの太田分校をよろしくお願い致します。

最後にもう一度感謝の言葉を言わせてください。先生方、地域の皆さん、そして普段私たちを一生懸命支えてきてくださった家族の皆さん、三年間、本当にお世話になりました。私たちは卒業し、新たな輝く世界で成長していきます。社会を生きる中で失敗を繰り返すかもしれませんが、失敗を恐れず前に進んでいき、太田分校での楽しい思い出を決して忘れることなく、今後の力として頑張っていきたいと思います。今日まで本当にありがとうございました。

最後になりましたが、皆様のご健康とご活躍をお祈りし、答辞と致します。

令和七年三月一日

卒業生代表　伊藤　大悟

さよならぐらいで出会いは消えない
いつだって心は一緒だ
離れていても想っているから
笑顔と涙で描きあった日々は
いつまでも心の居場所だ
君が今日一人で踏み出す一歩は
僕らの一歩だ